



平成30年7月豪雨災害から1年を節目に、復興イベントが7月5日(金)～7日(日)、オズメッセ周辺施設で開催されました。「知ろう、守ろう 自分の健康! 備えよう災害に! 今私たちができること!」をテーマに、愛媛たいき農業協同組合や市立大洲病院、消防署、保健センターなどが協力し、防災や健康などのコーナーが設けられました。

7日には、警察署と消防署によるパトカーやはしご車の展示が行われ、多くの親子が参加し、記念撮影などを楽しんでいました。

今私たちができること

復興イベント



海外からのさらなる誘客を目指して

せとうち拠点地区での観光地域経営に関する連携協定の締結式が、7月27日(土)、大洲市役所で行われました。関係者約40人が出席し、(一社)せとうち観光推進機構、(一社)内子町観光協会、(一社)キタ・マネジメント、内子町、大洲市の5者が協定を結びました。

この協定は、内子町と大洲市が協力して観光資源を磨き上げ、せとうち観光推進機構が展開する海外へのPR戦略に内子町と大洲市の魅力を盛り込むことで、インバウンド誘客などによる観光まちづくりの推進および地域の活性化を図ろうとするものです。

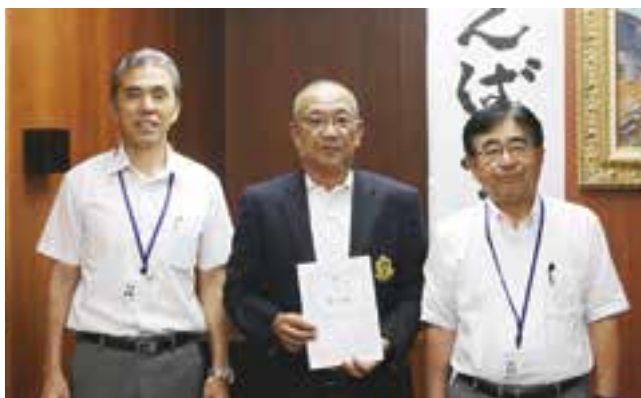
キタ・マネジメント代表理事である二宮市長は、「観光というツールを用いて、地域の魅力を世界にPRしたい。多くの人に訪れてもらい、経済を循環させ、元気なまちづくりを目指したい」とあいさつしました。



また、せとうち観光推進機構事業副本部長の大西達也^{たつや}さんは、「観光振興では、地域の観光まちづくりと広域的な誘客促進が、いかに一体となって進めるかが重要である。一緒になって、地域の盛り上げにも貢献したい」と今後の展望を述べました。



マスタースゴルフ全国大会出場



5月9日(木)、10日(金)に松山市で開催された日本スポーツマスタースゴルフ選手愛媛県選考会で、井上明男さん(東大洲)が70人中2位という好成績を収め、9月11日(水)から岐阜県で開催される日本スポーツマスタース2019ぎふ清流大会のゴルフ競技への出場を決めました。

7月24日(水)、井上さんが市役所を訪れ、全国大会への出場を報告しました。井上さんは、「大会まで時間があるので、練習を積んで精進したい。結果にこだわらず楽しみたい」と抱負を語りました。

今年も海シーズン到来



海開き安全祈願祭が、7月12日(金)、長浜海水浴場で行われました。市や自治会の関係者ら約20人が参加し、期間中の無事故を祈願しました。観光協会長浜支部長の東敦弘さんは、「昨年は災害の影響による来場者の減少を心配したが、約3000人が訪れた。今年も、来場者に楽しんでもらえるよう努めたい」とあいさつしました。

その後、招待された長浜保育所の園児17人が、冷たい海に元気よく入りました。歓声を上げながら友達と水をかけ合い、近づく夏を満喫していました。

高齢者叙勲



瑞宝双光章

白石美子さん
(阿蔵)

元公立小学校長

白石さんは、長年にわたり教育業務にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

大洲市優良工事表彰式

市の発注する建設工事において、特に優秀な工事を行った4業者への表彰式が、7月25日(木)、大洲市役所で行われました。

株式会社西田興産の西田弘二さんは「今回の受賞を機に、さらに技術を研さんし、大洲市の復興に取り組みたい」とあいさつしました。

受賞した業者は、以下のとおりです。

- ▽谷本建設工業株式会社 ▽株式会社西田興産
- ▽愛媛舗道株式会社 ▽三瀬建設株式会社



地域医療の未来を考える

～医療の現場から～ No.3



診療科目	整形外科・リハビリテーション科・内科・循環器内科・消化器内科・外科・放射線科・漢方内科・麻酔科
診療時間	午前9時～午後0時30分、 午後3時～6時 (診療科により変更あり)
休診日	土曜午後・日曜・祝祭日
所在地	〒795-0061 大洲市徳森1512-1
電話番号	0893-25-2022
公式HP	http://www.ozu-johukai.jp/

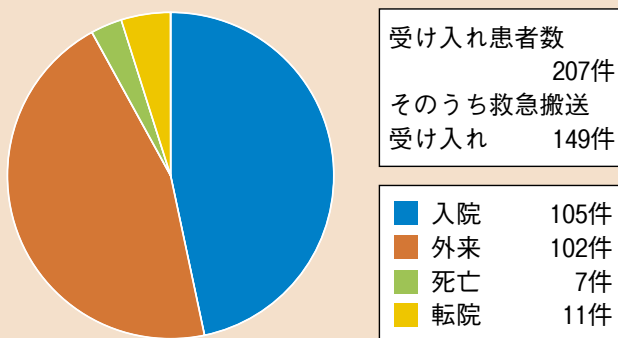
医療法人 恕風会

大洲記念病院

大洲記念病院は、昭和55（1980）年、恕風会の現理事長である清水清勝さんにより清水内科（19床診療所）として開設されました。昭和60（1985）年には、内科病棟を増設し、院名を大洲記念病院に変更しました。現在は、病床数が95床となり、整形外科・リハビリテーション科・内科・外科を中心とした診療を行っています。院長の清水晃さんは、整形外科医であり、平成25年から院長に就任し、地域

医療に貢献すべく日夜頑張っています。また、大洲記念病院で働く職員は、医療法人恕風会の一員であることと誇りに感じ、仕事に取り組んでいます。恕風会は、2つの介護老人保健施設に加え、高齢者賃貸住宅、デイケア、デイサービス、訪問在宅事業など（ひまわり部門）を運営しています。すべての事業所が歯車の一つとなり、良質な医療介護が提供できるように心がけています。

平成30年度救急患者受け入れ概要 ※木曜日のみ



大洲記念病院は、救急告示病院として、救急患者の受け入れを行っています。大洲喜多地区内の病院で構成する輪番制では、毎週木曜日の昼間帯（午前8時30分～午後5時30分）を担当しています。大洲記念病院における平成30年度の救急受け入れ患者数は、207人であり、そのうち、72パーセントの149人が救急車での搬送

救急患者受け入れ体制・概要・現状



によるものでした。これとは別に、救急当番以外の日にも、58人の救急搬送患者の受け入れがありました。

治療の処置状況で分けてみると、通院や入院などを必要としない外来として処置された患者は、全体の約半数を占めていました。

この地域の良さを 知ってほしい

大洲喜多地区には、県立中央病院や市立宇和島病院といった大型の総合病院がありません。しかし、地区内には、それぞれ診療科に特化した病院が複数あり、地域で一つの大きな病院をつくるような医療体制ができています。「大型の病院には気軽に行けない」と感じている人にとって、このような医療体制は、非常に大きなメリットだと思います。

大洲記念病院には、日本整形外科学会に所属する整形外科専門医が3人いて、整形外科に関する



大洲記念病院 院長

清水

あきら 晃 さん

して県内でも先頭を走っている自信があります。このように、当院は整形外科に特化しているため、救急当番以外の日に、他の病院から整形外科の救急患者を受け入れることがあります。小児の骨折などは、地区内では当院でしか処置できないことがあるためです。

大洲喜多地区の救急医療は、地区内の病院が互いに助け合っ成り立っています。この救急医療体制を将来にわたって存続させるためには、3次救急病院も含め、救急医療のネットワークをより強固なものにする必要があると思います。

救急医療への負担が増える、日中に行う診療にも影響が出る可能性があります。そのような負担を減らすために、今後は、かかりつけ医へ気軽に相談できるような環境づくりを整備していきたいと考えています。できる限り地域の救急は、地域内で終わらせたい——最終的には、患者の負担軽減にもつながるのではないかと思います。

救急と手術の

連携のために



救急部 手術部 統括主任

上杉 隆之 さん

は、救急隊員からの連絡があるため、ある程度は患者の容態を知ることができます。一人でも多くの患者を救うためにも、この一瞬の見極めをより早くしていききたいと思っています。

一方、当院で処置が可能であると判断した患者のうち、手術が必要になる場合には、すぐに医師と手術部のスケジュール調整を行います。患者だけでなく、医師やスタッフもベストな状態で手術が行えるように心がけています。

救急医療は、地域のみなさんにとって、必要不可欠な存在といえます。存続させるためにも、私は、「小児救急電話相談」のような急な病気やけがに関して相談できるシステムが増えてほしいと思っています。症状に応じた適切な対処の仕方や、受診する病院などのアドバイスが受けられるようになれば、救急医療に携わる人の負担も軽減されるのではないかと考えています。

私は、大洲記念病院における救急部と手術部の両方に属し、両部のパイプ役として救急時の連携や手術の日程調整などを行っています。普段は、手術部で業務を行っていますが、救急告示日である木曜日には、救急部にも活動範囲を広げています。救急搬送される患者は、まず救急部で処置が行われます。大洲記念病院では、基本的にすべての患者を受け入れ、処置を行うようにしています。しかし、中には、当院では処置が難しく、他の医療機関への転送が必要となる場合もあります。搬入前に

消費税増税に備える

事業者向け

消費税軽減税率制度説明会のご案内

10月1日から実施される消費税率の引き上げと同時に、消費税軽減税率制度が導入されます。今回の引き上げでは、ほとんどの商品の消費税が10パーセントに引き上げられますが、飲料食品や新聞は例外的に8パーセントに据え置かれます。

大洲税務署では、事業者向けの消費税軽減税率制度の説明会を次のとおり実施します。

軽減税率制度は、すべての事業者のみなさんに関係します。また、準備を終わらない事業者のみなさんは、ぜひご参加ください。

【日時】

8月28日(水)、9月11日(水)

午後2時～3時

【場所】

大洲税務署1階会議室

※駐車台数に限りがあります。

【内容】

- ▽取り扱う商品の適用税率の確認
- ▽複数税率に区分した経理の準備
- ▽レジやシステムの導入・改修などに係る補助金の申請手続き
- ▽複数税率に対応したレジやシステムの導入・入れ替え など



説明会に関する最新の情報は、国税庁ホームページの軽減税率制度に関する特設サイト「消費税の軽減税率制度について」をご覧ください。

【主催】大洲税務署

【共催】

(公社) 大洲喜多法人会、大洲間税会、大洲税務署管内青色申告会連合会、大洲商工会議所

【問い合わせ先】

大洲税務署 ☎243117
国税庁 軽減コールセンター
☎0120(205)553

野鳥

アカハラダカ(赤腹鷹)
タカ目 タカ科
全長 30cm 翼開長 60cm



春と秋の渡りの季節に出合える、キジバトより少し小さい小型のタカの仲間です。ユーラシア大陸の東部で繁殖しているため、観察できる時は、ほとんどが秋の渡りの時期です。国内では、長崎県対馬の内山峠が有名で、ピーク時には数万羽が南を目指して渡っていくそうです。県内でも、朝鮮半島より東側で繁殖した個体が通過しますが、珍鳥の部類で、出合えればとても運が良いといえます。

しかし、野鳥たちにとっては、国境は人間が勝手に作ったもので、季節風や台風に流されたりして、思わぬ所で観察できたりもします。領土や領海をめぐる、いつも小競り合いが勃発していますが、生き物たちは、個性を武器に他の生き物との争いを起こさぬように、共存しています。いつの時代も、争い事が絶えないのは、少し知能を持った人間だけのような気がしてなりません。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑤

文化財

柳瀬焼竹図透入り器 1個
市指定有形文化財(工芸品)
大洲高等学校所有



柳瀬焼は、3代藩主加藤泰恒の頃、上方(現在の関西地方)から来た才兵衛という陶工に命じ、梁瀬山(柚木地区)の麓で製作したのが始まりです。藩御用の陶器を製作したと伝えられています。窯業期間は約30～40年と短いものでした。

この作品は、高さ16.6cm、口径12cmで、旧藩主加藤家に伝来したとされるもので、灰色がかった胴全体には大きく竹が図案化されています。竹の葉や稈(他の樹木では幹に相当)の一部を透かし彫とするほか、白土を象嵌(他の材料を掘はめ込んで模様とすること)した線で描くなどの特徴が見られます。

当作品は、大名家の伝来品らしく、極めて精巧なもので、柳瀬焼の中でも最も優品といえます。

(昭和37年11月3日指定)